



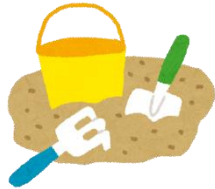
ひなどい



第2号

令和8年5月15日
新潟市立新津第三幼稚園だより

【教育目標】
なかよく せいいっぱい
遊ぶ子ども



園庭の砂場で

園長 大矢 晃子

爽やかな風が心地よい5月のある日、年中もも組の子どもたちは、園庭の砂場で遊び始めていました。進級してから砂場で遊ぶのは初めてです。担任が用意したものは、小さいスコップとコップです。そして、タライに水を入れておきました。さっそく砂の感触を確かめる子、スコップで砂を掘る子、友達と「川を作ろうよ！」と思いつきに遊ぶ様子がありました。するとスコップで深めの穴を掘っていたA児は、「海にしたいな」と、自分で掘った穴に、カップで水を入れてみました。「あれ？すぐなくなっちゃうな〜」とまた、水を汲んできて入れました。しかし、乾いていた砂には、なかなか水が溜まりません。そうするうちに、タライの水も少なくなり、コップで水がすくえなくなりました。そこで、A児は考えます。もう一つのコップで、水を集めて使っていたコップに水を移し入れて、コップを水でいっぱいにしたのです。「コップに水を満タンにしたら海になるかも〜」と、A児は水を何度も入れていました。

A児の心が動いた「海にしたい」という思いを実現するために、いろいろ思考を巡らせて試している姿を担任は、あえて声をかけず見守っていました。A児が自分でやってみようとする姿を大事にしたいと思ったからです。

この砂場での遊びでは、他にも子どもたちが心を動かして遊びを楽しんでいる場面をいくつも見つけました。

このように、何気ない日常の遊びにも、子どもたちの「学びの芽」がたくさんあります。園では、幼児にふさわしい環境の中で子どもが自らやってみたいことを引き出し、もっとこうしたい、が実現できるよう保育を進めています。



ありがとうございます

～砂場のネットを手作りしていただきました～



新津第三幼稚園の学校運営協議会の委員として、園に関わっていただいている新津西部コミ協の蓮沼様からのご厚意で、砂場の遮光ネットを張っていただきました。年々、日差しが強くなり、子どもたちが砂場で安全に遊べるためです。ところが、大型連休中の強風で、シートが破損してしまい、今回は、手作業でシートを強化していただき、無事、完成しました。

園は地域の方々に支えられています。いつもありがとうございます。